

Ⅱ．研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

【平成 28 年度】

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
中島孝	患者の主観評価に基づく難病ケア	編集：河原仁志／中山優季	快をささえる難病ケアスターティングガイド	医学書院		2016.7.15	222-223
中島孝	難病治療に新たな時代の幕開け	川口有美子、小長谷百絵編著	在宅人工呼吸器ケア実践ガイドーALS生活支援のための技術・制度・倫理	医歯薬出版株式会社		2016.6.25	162-163

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
橘とも子,橘 秀昭, 緒方裕光	障害保健福祉施策の推進に向けた頭部等外傷予後情報の集積・活用の意義.	神経外傷	39 (2)	77-88	2016
橘とも子.	障害保健福祉政策の推進に向けた外傷予後の協働データベース・プロジェクトに関する意見調査.	保健医療科学	65(1)	60-66	2016
岩田裕美子,齊藤利雄,永山ひろみ,山本洋史,西菌博章,四分一健介,井上貴美子,藤村晴俊,中島孝	,脊髄性筋萎縮症Ⅱ型に対する福祉用Hybrid Assistive Limbを利用した歩行練習が運動機能およびQuality of Lifeに及ぼす効果	,医療	Vol.70No.11	457-461	2016.11
中島孝	ALSを含む神経筋疾患におけるロボットスーツHALを用いた歩行運動プログラムによる歩行機能改善—Cybernic Neurorehabilitationについて	第7回ALSフォーラム記録集		20-22	2016.11

Yuji Suzuki, M D, PhD1,2, Shinya Higuchi, M D2, Izumi Aida, MD2, <u>Takashi Nakajima, M D, PhD2</u> , Tsutomu Nakada, M D, PhD,	Abnormal Distribution of GABA A Receptors in Brain of Duchenne Muscular Dystrophy Patients,	Muscle & Nerve			accepted, 2016
<u>中島 孝</u>	【神経疾患への工学からのアプローチ】ロボットスーツHALによるCybernic neurorehabilitation	神経治療学 (0916-8443)	33巻3号	Page396-398	2016.05 《解説/特集》
<u>中島孝</u>	ニューロサイエンスの最新情報 ロボットスーツによる神経機能回復メカニズム, Clinical Neuroscience	月刊 臨床神経科学	Vol.34No.8,	936-937	2016.8.1
<u>中島孝</u>	【脊椎脊髄疾患に対するロボットリハビリテーション】難病(HAMを含む)に対するHAL医療モデルを用いた多施設共同医師主導治験	脊椎脊髄ジャーナル	29巻7号	707-713	2016.7.25 《解説/特集》
<u>中島孝</u>	遺伝医療における緩和ケア これまでとこれから	日本遺伝看護学会誌	15巻2号	p.2-13	2017.03 《解説》
<u>遠藤寿子, 中島孝</u>	パーキンソン症候群のリハビリとロボティクス	MEDICAL REHABILITATION (1346-0773)	196号	Page45-50	2016.5
<u>中島孝</u>	【先端機器とリハビリテーション】HAL医療用下肢タイプによる歩行運動療法	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	54巻1号	p.14-18	2017.01 《解説/特集》

遠藤 寿子, 中島 孝	ロボットスーツ HALによる神経難病のリハビリテーション	最新医学	72巻3号	p.461-466	2017.03 《解説》
中島孝	【歩行訓練のエビデンス】パーキンソン病	総合リハビリテーション	45巻3号	p.201-207	2017.03 《解説/特集》
中島孝	ALS病治療戦略国際シンポジウム より良いQOLと予後を目指した新規治療法の開発. 神経・筋疾患患者に対するHAL(Hybrid Assistive Limb)を利用したサイバニックニューロリハビリテーション	臨床評価 (0300-3051)	44巻3号	Page630-636	2016.12 《英語》《解説》
中島孝	寝たきり・車椅子0社会を目指して HAL医療用下肢タイプによるサイバニックニューロリハビリテーションとは何か	臨床評価 (0300-3051)	44巻4号	Page740-746	2017.02 《解説》
遠藤 寿子, 中島 孝	ロボットスーツ HALによる神経難病のリハビリテーション	最新医学 (0370-8241)	72巻3号	Page461-466	2017.03 《解説》
中島孝	【神経疾患への工学からのアプローチ】ロボットスーツHALによるCybernic neurorehabilitation	神経治療学 (0916-8443)	33巻3号	Page396-398	2016.05 《解説/特集》

中島孝.	健康寿命延伸への貢献 神経筋疾患および脳血管障害患者に対するHybrid Assistive Limb(HAL)を利用したサイバニクス機能再生治療.	臨床評価.	45(2)	352-357.	2017
後藤 清恵, 芳賀 まゆき, 柴山 直之, 中島 孝	【人はグループのなかでどう成長するか?】入院・青年期筋ジストロフィー患者の心理サポートグループについての考察 グループコミュニケーションの展開について	集団精神療法 (0912-4268)	32巻2号	Page322-327	2016.12 《解説/特集》
遠藤 寿子, 中島 孝	【ロコモティブシンドローム-長寿時代の各科に必要な運動器の最新知識】歩行障害に対するロボットスーツHAL	カレントセラピー (0287-8445)	34巻10号	Page1009-1014	2016.10 《解説/特集》
中島 孝	ニューロサイエンスの最新情報 ロボットスーツによる神経機能回復メカニズム	Clinical Neuroscience (0289-0585)	34巻8号	Page936-937	2016.08 《解説》
遠藤 寿子, 中島 孝	【パーキンソニズムの診断とリハビリテーション】パーキンソニズムのリハビリテーションとロボティクス	MEDICAL REHABILITATION (1346-0773)	196号	Page45-50	2016.05 《解説/特集》
水島 洋, 金谷 泰宏.	【指定難病とは?】指定難病における患者登録制度 患者登録の重要性と現状の課題.	医学のあゆみ.	258 (12)	1123-1127.	2016

水島 洋, 佐藤 洋子, 金谷 泰弘.	【ビッグデータ解析に基づく臨床研究】患者ビッグデータ活用の動向と課題.	神経内科.	84(6)	578-584.	2016
水島洋.	病気を予防するための早期リスク診断とその意義.	日本健康医学会雑誌.	25(2)	84-88.	2016
中島 孝	【先端機器とリハビリテーション】HAL医療用下肢タイプによる歩行運動療法	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)	54巻1号	Page14-18	2017.01 《解説/特集》

学会発表

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
水島洋, 佐藤洋子, 橘とも子	アウトカムリサーチのための障がい者登録の必要性	第 41 回インターネット技術第 163 委員会研究会 (ITRC meet41)	東京	https://alligator.itrc.net/meet/41-agenda/ (accessed 2017-05-17)	2017年5月
橘とも子, 佐藤洋子, 水島洋	障害保健福祉施策における情報アクセシビリティ向上のための効果的な意思疎通支援手法に関する研究.	第30回公衆衛生情報研究協議会研究会	第30回公衆衛生情報研究協議会研究会抄録集	p. 33-34.	2017年1月 福島
橘とも子, 緒方裕光	障害保健福祉施策の推進に向けた外傷予後情報の集積・活用の意義に関する政策的研究.	第75回日本公衆衛生学会総会抄録集	第75回日本公衆衛生学会総会	p.541	2016年10月 大阪
鈴木仁一, 植田紀美子, 橘とも子, 谷掛千里, 橋本佳美.	日本公衆衛生学会モニタリング委員会【障害グループ】の平成27年度活動報告.	第75回日本公衆衛生学会総会	第75回日本公衆衛生学会総会抄録集	p.541	2016年10月 大阪
水島洋, 佐藤洋子, 橘とも子	意志疎通が困難な者に対する情報保障の効果的な支援手法.	インターネット技術第163委員会(ITRC). 医療情報ネットワーク連携および UA 技術の普及・実践分科会 (MINX-UAT). 第3回 アクセシビリティワークショップ		http://www.itrc.net/minx-ua/workshop201610.html (accessed 2017-05-22)	2016.10.22 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター 国際会議室

中島孝	HAL 医療用下肢タイプによるサイバニックニューロリハビリテーションとは何か	4th World Centenarian Initiative第2回 弘前医療技術イノベーションシンポジウム		弘前大学医学部コミュニケーションセンター	2016.5.1
中島孝	神経筋疾患に対するサイバニックニューロリハビリテーション:robot suit HALの臨床	第57回日本神経学会学術大会 シンポジウム講演		ポートピアホテル	2016.5.21
中島孝	神経・筋難病患者の歩行障害に対するロボットスーツHALの臨床効果について	第57回日本神経学会学術大会 教育プログラム		神戸国際会議場	2016.5.21
中島孝	HAL医療用下肢タイプによるサイバニックニューロリハビリテーションについて	第53回日本リハビリテーション医学会学術集会		国立京都国際会館	2016.6.11
中島孝	医療機器-HAL医療用下肢タイプによるサイバニックニューロリハビリテーションについて	第2回リハビリテーション先端機器研究会		国立京都国際会館	2016.6.12
中島孝	ロボットスーツHAL医療用下肢タイプによる歩行運動療法について	第7回PADMシンポジウム		品川インターシティ	2016.7.2
中島孝	ロボットスーツHAL:おとなから小児への適応にむけて	第26回全国病児保育研究大会inいがた		朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター	2016.7.18
中島孝	ALSを含む神経筋疾患におけるロボットスーツHALを用いた歩行運動プログラムによる歩行機能改善-Cybernic Neurorehabilitationについて	第7回 ALSフォーラム		シェラトン都ホテル東京	2016.7.30
中島孝	末梢神経・中枢・Hybrid Assistive Limbのinteractive BiofeedbackによるCybernic neurorehabilitationとは何か-治験結果を通して	第27回日本末梢神経学会学術集会		大阪国際会議場	2016.8.26
中島孝	運動機能改善装置の臨床評価指標と実用化における課題-ロボットスーツHALの医療機器承認の経験から	第6回 レギュラトリーサイエンス学会学術総会		一橋大学一橋講堂	2016.9.10

中島孝	重度の身体障害者（ALS、筋ジストロフィーなど）のコミュニケーション援助の取り組み。一口文字法、透明文字盤、メカニカルおよびサイバニックスイッチまで	H28橋班ミニセミナー		国立保健医療科学院本館	2016.9.12
中島孝	患者の主観的評価に基づく医療QOL 評価の新しい実践	患者主体のQOL評価法「SEIQoL-JA」を学び、活かす実習セミナー		帝京平成大学	2016.9.18
中島孝	神経筋難病に対する新たなニューロリハビリテーションについて HALを用いた歩行運動療法	平成28年度神経・筋疾患研修会		国立病院機構柳井医療センター	2016.10.21
中島孝	ロボットスーツHALの医療機器承認とニューロリハビリテーション	第67回佐賀リハビリテーション研究会		アバンセ・ホール	2016.10.22
中島孝	HAL医療用下肢モデル：現状と未来	第16回神奈川県神経科医学会学術集会		ホテル横浜キャメロットジャパン	2016.10.27
中島孝	Cybernic neurorehabilitation using Hybrid Assistive Limb (HAL)for the patients with neuromuscular and cerebrovascular diseases	5th World Centenarian Initiative		JA 共済ビルカンファレンスホール	2016.10.29
中島孝	進行したALS患者等を含む障害者のコミュニケーション支援機器の開発	H28年度AMED長寿・障害総合研究事業障害者対策総合研究開発事業（身体・知的等障害分野）進捗報告会 ポスター発表		一橋大学一橋講堂	2016.11.9
中島孝	HAL医療用下肢タイプ：現状とこれから	第51回臨床研究教育セミナー		国立病院機構名古屋医療センター	2016.11.9
中島孝	HAL医療用下肢タイプによる歩行運動療法の適応拡大に向けて	第51回日本脊髄障害医学会		幕張メッセ	2016.11.10
中島孝	ロボットスーツHALの臨床：サイバニックニューロリハビリテーションによる運動学習とは何か？	第40回日本高次脳機能障害学会学術集会		キッセイ文化ホール	2016.11.11

中島孝	HAL医療用下肢タイプによるサイバニックニューロリハビリテーションとは何か 検証と課題	第2回北海道ロボットスーツHAL研究会		東京ドームホテル札幌	2016.11.12
中島孝	「ロボットスーツHALの神経筋難病への適用	第4回日本難病医療ネットワーク学会学術集会（ウィンクあいち） 日本難病医療ネットワーク学会機関誌（2188-1006）	4巻1号	Page30	2016.11.18
中島孝	重度身体障害者（ALS,筋ジストロフィーなど）のコミュニケーション支援の取り組み～口文字法、透明文字盤、メカニカルスイッチおよびサイバニックスイッチまで～	公開シンポジウム意思疎通支援の架け橋づくり		星陵会館	2016.12.1
中島孝	「HAL医療用下肢タイプ」の治験とその後	第5回日本脳神経HAL研究会		京都大学	2016.12.17
中島孝	患者の主観的評価に基づく医療QOL 評価の新しい実践	患者主体のQOL評価法「SEIQoL-DW」を学び、活かす実習セミナー		立命館大学院・創思館カンファレンスルーム	2016.12.18
遠藤寿子, 池田哲彦, 飛永雅信, 大田健太郎, 会田泉, 米持洋介, 中島孝	HTLV-1関連脊髄症におけるHALを使用した歩行リハビリテーションの長期経過の研究	臨床神経学	56巻Suppl.	p. S538	2016.12
大田健太郎, 飛永雅信, 田中陽平, 遠藤寿子, 樋口真也, 池田哲彦, 会田泉, 米持洋介, 中島孝	DAT scanにおける進行性核上性麻痺とパーキンソン病の相違について	臨床神経学	56巻Suppl.	p. S447	2016.12

米持 洋介, 飛永 雅信, 池田 哲彦, 遠藤 寿子, 大田 健太郎, 会田 泉, <u>中島 孝</u> , 高原 誠, 今里 真, 小澤 哲夫, 三吉 政道, 金谷 洋, 横山 裕一, 他田 真理, 柿田 明美, 高橋 均	原発性側索硬化症と診断したが、進行性核上性麻痺と病理診断された症例の臨床病理学	臨床神経学	56巻Suppl.	p. S446	2016.12
<u>中島 孝</u>	神経筋疾患に対するサイバニックニューロリハビリテーション robot suit HALの臨床	臨床神経学	56巻Suppl.	p. S41	2016.12
佐藤 大樹, 新田 大志, 石塚 彩代, <u>中島 孝</u>	促通反復療法によるパーキンソン病の上肢機能の改善効果について	国立病院総合医学会講演抄録集	70回	p. P4-53-4	2016.11 《会議録/ 症例報告》
杉田 佳澄, 猪爪 陽子, 池田 哲彦, 遠藤 寿子, <u>中島 孝</u>	HTLV-I関連性脊髄症に対してロボットスーツHALを用いた歩行運動療法により長期改善効果を示した1症例	国立病院総合医学会講演抄録集	70回	p. P4-51-5	2016.11 《会議録/ 症例報告》
森口 真, <u>中島 孝</u> , 坂井 麻里子, 早川 竜生, 大島 弘子	作業療法部門における3D printerの有用性についてのアンケート調査	国立病院総合医学会講演抄録集	70回	p. P2-51-7	2016.11 《会議録》
柳田 光利, 齊間 理, 木下 悟, 藤中 秀彦, 鈴木 俊明, 高橋 雄一, 三浦 雅樹, 小澤 哲夫, <u>中島 孝</u> , 富沢 修一	Mycoplasma pneumoniae 感染症におけるPCR診断法の改良	国立病院総合医学会講演抄録集	70回	p. O-44-1	2016.11 《会議録》
<u>中島 孝</u> , 原 一	HAL医療用下肢タイプ現状とこれから	神奈川医学会雑誌	44巻1号	p.136	2017.01 《会議録》
柳田 光利, 木下 悟, 小澤 哲夫, <u>中島 孝</u> , 富沢 修一	Mycoplasma pneumoniae II型亜種variant 2bに対するreal-timePCR測定法の改良	日本臨床微生物学雑誌	27巻Suppl.	p.255	2016.12 《会議録》

大田 健太郎, 飛永 雅信, 遠藤 寿子, 池田 哲彦, 會田 泉, 米持 洋介, <u>中島 孝</u>	3D-SSPを用いた進行性核上性麻痺の病型間の比較による血流低下部位の検出	パーキンソン病・運動障害疾患コングレスプログラム・抄録集	10回	p.108	2016.10 《会議録》
高橋 千晶, 遠藤 寿子, <u>中島 孝</u>	慢性期脳卒中のリハビリに対するHAL単脚モデルの可能性について	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)	JARM2016	Page 1213	(2016.06) 《会議録》
<u>中島 孝</u>	活かすための神経内科の新戦略 HAL医療用下肢タイプによるサイバーニクニューロリハビリテーションについて	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)	JARM2016	Page S312	(2016.06) 《会議録》
<u>中島 孝</u>	ロボットスーツHALの神経筋難病への適用	日本難病医療ネットワーク学会機関誌 (2188-1006)	4巻1号	Page30	(2016.11) 《会議録》
<u>中島 孝</u>	末梢神経・中枢・Hybrid Assistive Limbのinteractive BiofeedbackによるCybernetic neurorehabilitationとは何か. 治験結果を通して.	末梢神経 (0917-6772)	27巻2号	Page142	(2016.12) 《会議録》
徳間 彩香, 大田 健太郎, <u>中島 孝</u>	喚語困難を初発とする進行性失語を呈した進行性核上性麻痺の1症例	言語聴覚研究 (1349-5828)	13巻3号	Page174	(2016.09) 《会議録/症例報告》
<u>中島 孝</u>	遺伝医療における緩和ケア. これまでとこれから.	日本遺伝看護学会誌 (1881-3267)	15巻1号	Page15	(2016.08) 《会議録》

木下 悟, 三浦雅樹, 高橋 雄一, 鈴木 俊明, 藤中 秀彦, 富沢 修一, 中島 孝	国立病院機構新潟病院の筋疾患診療の現状 小児期から成人期の筋疾患治療戦略	日本小児科学会雑誌 (0001-6543)	120巻7号	Page1108	(2016.07) 《会議録》
榛沢 和彦, 窪田 純, 西 祐一, 品田 恭子, 中島 孝	頸部貼り付け型プローブ HITS検出装置(FURUHATA)によるDVT検診時の検査結果	Neurosonology (0917-074X)	29巻増刊	Page86	(2016.06) 《会議録》
木下 悟, 三浦雅樹, 高橋 雄一, 鈴木 俊明, 藤中 秀彦, 富沢 修一, 中島 孝	国立病院機構新潟病院の筋疾患診療の現状 小児期から成人期の筋疾患治療戦略	日本小児科学会雑誌 (0001-6543)	120巻7号	Page1108	(2016.07) 《会議録》
榛沢 和彦, 中島 孝, 窪田 純, 齋藤 優杞, 土田 正則	中越沖地震DVT検診における頸動脈微小栓子検出	日本血栓止血学会誌 (0915-7441)	27巻2号	Page262	(2016.05) 《会議録》

【平成 29 年度】

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
中島孝監訳	非悪性腫瘍の緩和ケアハンドブック ALS（筋委縮性側索硬化症）を中心に	（オリバー/ボラジオ/ウオルシュ編）	非悪性腫瘍の緩和ケアハンドブック ALS（筋委縮性側索硬化症）を中心に	西村書店,	東京	2017.4.1	1-164

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Tachibana T, Mizushima H.	A Review for Promoting Evidence-based Healthcare and Welfare Policies for People with Disabilities. A Proposed “Definition of Health” for a Care-focused Mature Society.	J Epidemiol Public Health Rev	2(6)	doi http://dx.doi.org/10.16966/2471-8211.158	2017

<u>Tachibana T, Mizushima H.</u>	Promoting Evidence-Based Health and Welfare Policies for People with Disabilities: Proposing a “Definition of Health” for a Care-Focused Mature Society.	Epidemiology (Sunnyvale)	7:334.	doi:10.4172/2161-1165.1000334.	2017
<u>橋 とも子.</u>	【地域の情報アクセシビリティ向上を目指して-「意思疎通が困難な人々」への支援-】共生社会における情報アクセシビリティ向上を目指して.	保健医療科学.	66(5)	473-483.	2017
<u>橋 とも子.</u>	【地域の情報アクセシビリティ向上を目指して-「意思疎通が困難な人々」への支援-】巻頭言.	保健医療科学.	65(1)	471-472.	2017
<u>中島 孝</u>	【地域の情報アクセシビリティ向上を目指して-「意思疎通が困難な人々」への支援-】難治性神経・筋疾患に対するコミュニケーション支援技術：透明文字盤，口文字法から最新のサイバニックインタフェースまで，	保健医療科学	Vol.66 No. 5,	491-496	2017
<u>井村 保</u>	意思伝達装置にかかる補装具費支給状況と支援者等資源の相関分析からの多職種連携の提案	日本難病医療ネットワーク学会機関誌	4(2)	(印刷中)	2017
<u>井村 保</u>	ALS 患者におけるコミュニケーション機器の導入支援に関するニーズの分析ーテキストマイニングによる個別ニーズの体系化の試み	中部学院大学・中部学院大学短期大学部研究紀要	18	103-112	2017
<u>水島 洋</u>	【地域の情報アクセシビリティ向上を目指して-「意思疎通が困難な人々」への支援-】 ICT による障害者に対する意思疎通支援の現状と課題.	保健医療科学	Vol.66 No. 5	p.497-501	2017

勝野 雅央, 橋詰 淳, 中村 治雅, 小野 賢二郎, 湯地 晃一郎, 山田 雅信, 渡邊 琢也, 一丸 勝彦, 加藤 直人, 井上 隆弘, 草間 真紀子, 水島 洋, 藤本 陽子, 秋元 周, 小林 潔, 大脇 健二, 上杉 幸嗣.	神経変性疾患に対するリバーストランスレーショナルリサーチの基盤としての患者レジストリおよびバイオバンク.	臨床薬理 .	48(4)	141-147	2017
佐藤 洋子	【地域の情報アクセシビリティ向上を目指して-「意思疎通が困難な人々」への支援-】意思疎通が困難な者への障害種別ごとに求められる支援手法に関する文献レビュー.	保健医療科学	Vol.66 No.5	p.502-511	2017

学会発表

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>Tachibana T, Mizushima H.</u>	Promoting Evidence-Based Health and Welfare Policies for People with Disabilities: Proposal for the Definition of “Health” in a Matured Society.	In: Proceedings of 6th International Conference on Epidemiology & Public Health; 2017 Oct 23-25; Paris, France.	Epidemiology (Sunnyvale) 2017; 7 (5 Suppl):79.	DOI:10.4172/2161-1165-C1-018.ISSN:2161-1165 Epidemiology (Sunnyvale).	2017
<u>Tachibana T.</u>	Towards Improvement of Information Accessibility in a Care-focused mature Society: A proposed “definition of health” for a mature society.	In: Proceedings of 3rd World Congress on Public Health, Nutrition & Epidemiology; 2017 Nov 13-14; Osaka, Japan.	J Community Med Health Educ 2017; 7(5 Suppl):13.	DOI:10.4172/2161-0711-C1-029. ISSN: 2161-0711 JCMHE.	2017
<u>Tachibana T.</u>	Improving regional information accessibility in terms of support for people who have difficulty communicating.	In: Proceedings of 3rd World Congress on Public Health, Nutrition & Epidemiology; 2017 Nov 13-14; Osaka, Japan.	J Community Med Health Educ 2017; 7(5 Suppl):33.	DOI:10.4172/2161-0711-C1-030. ISSN: 2161-0711 JCMHE.	2017

<u>Mizushima H.</u>	Evidence based public health to precision public health.	In: Proceedings of 3rd World Congress on Public Health, Nutrition & Epidemiology; 2017 Nov 13-14; Osaka, Japan.	J Community Med Health Educ 2017; 7(5 Suppl):13.	DOI:10.4172/2161-0711-C1-029.	2017
<u>Mizushima H, Yasutaka Sugamori, Yoko Sato.</u>	Standardization of patient registry: Importance of evidence based public health.	In: Proceedings of 3rd World Congress on Public Health, Nutrition & Epidemiology; 2017 Nov 13-14; Osaka, Japan.	J Community Med Health Educ 2017; 7(5 Suppl):33.	DOI:10.4172/2161-0711-C1-030. ISSN:2161-0711 JCMHE, on open access journal.	2017
<u>水島洋, 佐藤洋子, 橘とも子.</u>	アウトカムリサーチのための障がい者登録の必要性.	第 41 回インターネット技術第 163 委員会研究会	(ITRC meet41); 2017年5月; 東京.	https://alligator.itrc.net/meet/41-agenda/ (accessed 2017-05-17)	2017
<u>佐藤洋子, 水島洋, 橘とも子.</u>	意志疎通が困難な者に対する情報保障の効果的な支援手法.	インターネット技術第163委員会 (ITRC). 医療情報ネットワーク連携および UA 技術の普及・実践分科会 (MINX-UAT).	第3回 アクセシビリティワークショップ「意志疎通が困難な者に対する情報保障の効果的な支援手法」(東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター 国際会議室2016.10.22) .	http://www.itrc.net/minx-uat/workshop201610.html (accessed 2017-05-22)	2017
<u>橘とも子.</u>	「外傷」医療データベース等を活用した予後情報システム構築に向けた調査研究の試み.	インターネット技術第163委員会 (ITRC). 医療情報ネットワーク連携および UA 技術の普及・実践分科会 (MINX-UAT).	第3回 アクセシビリティワークショップ「意志疎通が困難な者に対する情報保障の効果的な支援手法」(東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター 国際会議室2016.10.22) .	http://www.itrc.net/minx-uat/workshop201610.html (accessed 2017-05-22)	2017
<u>橘とも子, 池田和功, 長谷川美香, 竹之内直人, 古屋好美.</u>	日本公衆衛生学会MR委員会【健康危機管理SG②平時情報基盤】平成28年度活動報告.	第76回日本公衆衛生学会総会; 2017.10.31-11.2; 鹿児島.	第76回日本公衆衛生学会総会抄録集.	p.596.	2017

橋 とも子.	【エビデンスに基づいた障害保健福祉施策の推進】障害保健福祉行政の動向から見えてきた障害保健福祉施策の課題. シンポジウム24-4「エビデンスに基づいた障害保健福祉施策の推進」.	第76回日本公衆衛生学会総会；2017.10.31-11.2；鹿児島.	第76回日本公衆衛生学会総会抄録集.	p.167.	2017
水島洋, 佐藤洋子, 橋とも子.	疾病レジストリの標準化とそのアウトカム指標としての介護障害者レジストリーの必要性.	第76回日本公衆衛生学会総会；2017.10.31-11.2；鹿児島.	第76回日本公衆衛生学会総会抄録集.	p.315.	2017
橋とも子, 末廣栄一, 鈴木倫保, 水島洋.	医療Databaseアウトカム指標としてのDisability Registry構築に関する提案.	第41回日本脳神経外傷学会；2018年2月；東京.	第41回日本脳神経外傷学会抄録集.	p.130.	2017
佐藤洋子,水島洋, 緒方裕光	ICD-10（2013年版）における分類変更が厚生統計に与える影響の定量的評価	第76回日本公衆衛生学会総会；2017.10.31-11.2；鹿児島.	第76回日本公衆衛生学会総会抄録集.	p.282	2017
橋とも子, 水島洋	地域の情報アクセシビリティ向上を目指して	第76回日本公衆衛生学会総会；2017.10.31-11.2；鹿児島.	第76回日本公衆衛生学会総会抄録集.	p.203	2017
中島 孝	重度身体障害者（ALS, 筋ジストロフィーなど）のコミュニケーション支援の取り組み.	第76回日本公衆衛生学会総会；2017.10.31-11.2；鹿児島.	第76回日本公衆衛生学会総会抄録集	p.205.	2017年11月2日
中島 孝	第10回日本在宅薬学会学術大会「難病ケアにおけるロボティクスとQOL-HAL」	(パシフィコ横浜)			2017年7月29日

中島 孝	第22回日本難病看護学会学術集会「難病患者のコミュニケーション-当事者と支援者の立場から」	(上智大学四谷キャンパス)			2017年8月26日
柳田 光利, 齊間理, 富沢 修一, 木下 悟, 藤中秀彦, 鈴木 俊明, 小澤 哲夫, 中島 孝	B型インフルエンザウイルスの系統解析におけるPCR測定法の改良と4価ワクチン変更に伴う流行状況	国立病院総合医学会講演抄録集 71回		Page2620	2017.11 《 会議録》
中島 孝	HALによるニューロリハビリテーション「HAL医療用下肢タイプ of 神経・筋8疾患での使用について」	筋ジストロフィー医療研究 (2433-1708)	4巻	Page23	2017.10 《 会議録》
中島 孝	HAL医療用下肢モデルによる神経筋疾患等に対するサイバニクス治療とは何か?	脳と発達	49巻Suppl.	p. S194	2017.05 《 会議録》
田中 英智, 豊島靖子, 他田 真理, 清水 宏, 米持 洋介, 小澤 哲夫, 中島 孝, 高橋 均, 柿田 明美	進行性骨化性線維異形成症の1剖検例	新潟医学会雑誌	131巻5号	p.315-316	2017.05 《 会議録》
中島 孝	高齢者パーキンソン病の診かたと支え方 Cyborg型ロボットHALの適応と効果 今後のパーキンソン病への適応拡大に向けて	日本老年医学会雑誌	54巻Suppl.	p.77	2017.05 《 会議録》
井村 保	保健所における重度障害者用意思伝達装置の導入支援状況に関する調査	第22回日本難病看護学会学術集会; 2017.8.25-26; 東京. 日本難病看護学会誌.	2017;22(1)	p.50.	2017

土屋 保奈美, 松田 真季, 坂詰 由佳, 猪爪 陽子, 高橋 雄一, 藤中 秀彦, <u>中島 孝</u>	小児肥満教室参加後の追跡調査 運動指導後のBMI・体重の変化を中心にして	国立病院総合医学会講演抄録集 71回	71回	Page2426	2017.11 《会議録》
大田 健太郎, 飛永 雅信, 遠藤 寿子, 池田 哲彦, 會田 泉, 米持 洋介, <u>中島 孝</u>	PSP Postural Instability typeにおける123I-IMP SPECTのパターン	Dementia Japan	31巻4号	Page594	2017.10 《 会議録》
金澤 雅人, 三浦 南, 鳥谷部 真史, 小山 美咲, 畠山 公大, 石川 正典, <u>中島 孝</u> , 小野寺 理, 高橋 哲哉, 西澤 正典, 下畑 亨貞	脳梗塞後遺症の機能回復を目指した低酸素低糖刺激保護的ミクログリア細胞療法	脳循環代謝	29巻1号	Page157	2017.11 《 会議録》
<u>中島 孝</u>	脳機能回復を目指す/脳機能回復を促す サイボーグタイプロボットHALを使用したサイバニクス治療による機能再生/治験から適応拡大へ	脳循環代謝	29巻1号	Page130	2017.11 《 会議録》
高橋 千晶, <u>中島 孝</u>	脳卒中慢性期におけるHAL使用歩行運動療法による神経機能回復とDTIを用いた神経可塑性評価について	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	54巻特別号	Page2-7-3-3	2017.05 《 会議録》
池田 哲彦, 遠藤 寿子, <u>中島 孝</u> .	【ニューロリハビリテーションの進歩】療法と実際 上肢・下肢リハビリロボット	Clinical Neuroscience (0289-0585)	35巻5号	Page572-575	2017.05 《 解説/特集》
<u>井村 保</u>	意思伝達導入支援にかかわる意識調査：医療機関と訪問看護ステーションを対象としたアンケートから.	第5回日本難病医療ネットワーク学会学術集会	第5回	p.56	2017

<p><u>井村 保</u></p>	<p>重度障害者用意思伝達装置の補装具費支給制度における種目構造のあり方：市町村等へのアンケート調査から。</p>	<p>日本リハビリテーション工学協会・第32回リハ工学カンファレンス；2017.8.22-24；神戸。リハ工学カンファレンス講演論文集</p>	<p>32回</p>	<p>p.175-176</p>	<p>2017</p>
<p><u>早瀬久美</u></p>	<p>シンポジウム37【地域の情報アクセシビリティ向上を目指して】37-1. 医療現場における情報アクセシビリティ。</p>	<p>第76回日本公衆衛生学会総会；2017.10.31-11.2；鹿児島。</p>	<p>第76回日本公衆衛生学会総会抄録集。</p>	<p>p.203</p>	<p>2017 《会議録》</p>
<p><u>打浪文子</u></p>	<p>シンポジウム37【地域の情報アクセシビリティ向上を目指して】37-2. 知的障害児・者への「わかりやすい」情報提供・コミュニケーション支援</p>	<p>第76回日本公衆衛生学会総会；2017.10.31-11.2；鹿児島。</p>	<p>第76回日本公衆衛生学会総会抄録集。</p>	<p>p.204</p>	<p>2017 《会議録》</p>
<p><u>立石雅子</u></p>	<p>シンポジウム37【地域の情報アクセシビリティ向上を目指して】37-3. 失語症におけるコミュニケーション支援</p>	<p>第76回日本公衆衛生学会総会；2017.10.31-11.2；鹿児島。</p>	<p>第76回日本公衆衛生学会総会抄録集。</p>	<p>p.204</p>	<p>2017 《会議録》</p>